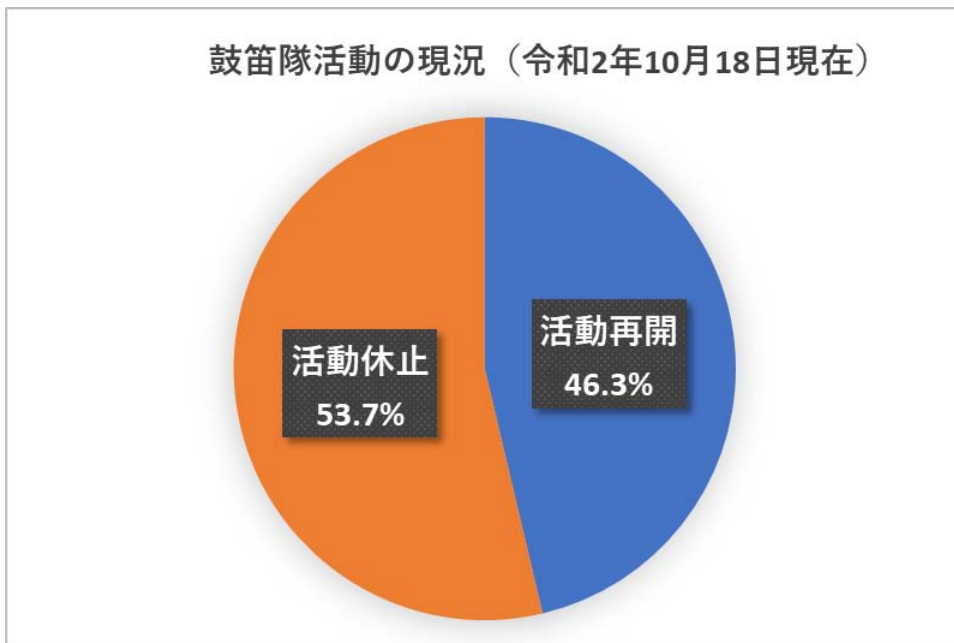


先般、少年会本部鼓笛活動課では、只今のコロナ禍の中、鼓笛隊の現場の皆さまの情報共有を目的に「鼓笛隊の現況調査」を実施させて頂きました。ご回答いただいた隊数は、72 隊でした。ご協力頂きました鼓笛隊の皆さま誠にありがとうございました。

この度、調査結果を機関紙「こてき」誌上に掲載させて頂きます。

ご承知の通り、地域や教会によって感染状況も環境も異なります。あくまでもご参考にしていただき今後につなげていただけたらと思います。

1、新型コロナウイルス感染症の拡大という現在の情勢下における、貴鼓笛隊の活動の現状をお教え下さい。

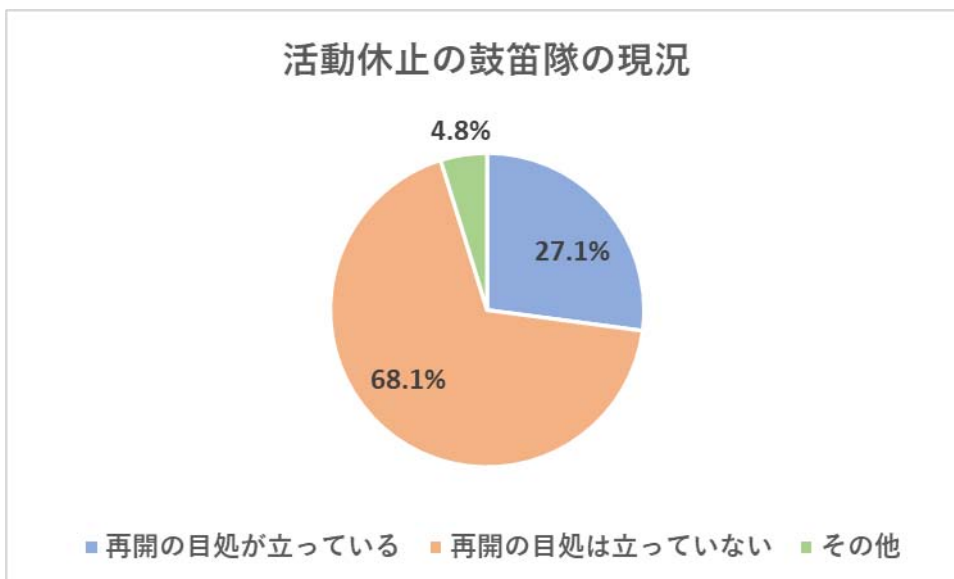


※ 調査結果のデータ不足により、教区別（地域別）の結果は表示出来ませんでした。従って、上記の表はコロナウイルスの感染者数の大小などの地域性を考慮しておりません。

※ 調査結果の「活動再開」には、リモート活動、会報誌送付等の活動は含まれておりません。

2、活動を休止している鼓笛隊

いつ頃の活動再開を考えていますか？活動再開への問題点をお聞かせ下さい。



※ 再開の目処が立っている鼓笛隊は、あくまでコロナウイルスの状況を注視しての条件付きですが、下記の表のようになりました。

活動再開予定の時期	
11月から	33.2%
年内には	16.7%
年明けから	16.7%
2月から	16.7%
4月から（来年度）	16.7%

※ その他は「コロナ禍の鼓笛隊活動は難しいので別の少年会活動を模索中」との回答でありました。

### 活動再開の問題点

活動再開の問題点	割合
三密を回避した練習、食事、生活環境を整える事が難しい	38.9%
活動の目標となる行事がない	22.2%
教会や保護者の理解を得ることが難しい	16.7%
教会や教区のその他の活動に合わせる事が難しい	11.1%
スタッフ・隊員の県外移動が難しい	11.1%

### (鼓笛隊の声)

- ・大教会の全ての行事が中止の中で、鼓笛隊活動だけ再開することは難しい
- ・「こどもおぢばがえり」の見直しから「おやさとパレード」がなくなり、子供達の一番の目標がなくなりました。そうした中で新たな目標を見出そうとしているところに新型コロナウイルス感染症が拡大し、練習場としている教会のスペースの問題から密は避けられず、また、未信者の隊員が多いため、保護者にもなかなか理解を得られず、再開が出来ない状態です。子供達に信仰をつなぐ上にも、出来る事なら今すぐにも活動を再開してあげたい。
- ・スタッフの中心が社会人であるため、平日に不特定多数の人達とオフィスや駅等で接触していることを考慮すると、活動の再開は難しい。
- ・合宿練習を中心に行ってきたので、その合宿が出来ないことが問題点
- ・隊員が全部集まると多いことから、学年ごと、パートごとの練習も考えたが、隊員に兄弟が多いことや、遠隔地から来ている事から上手く分散させることが難しい
- ・スタッフに医療従事者が多く、感染拡大のリスクを考慮すると再開が難しい
- ・支部の活動であるため、活動拠点となる教会にかかる負担や風評被害を考えると再開は難しい

## 活動を再開している鼓笛隊

活動再開に至った経緯をお聞かせください。

### (鼓笛隊の声)

- ・行政のコロナ防止対策の緩和を受けて、教会のコロナ禍に対する活動の方向性が変わってきたことから再開に踏み切った。
- ・今年度の鼓笛隊活動のくぎりとして、また、特に中学3年生の隊員のためにも少年会本部が企画して下さった「特別企画お供演奏」or「境内地お供演奏」参加を実現させてあげたく、活動再開に至った。
- ・教会月次祭の信者さん方の参拝再開を受けて
- ・隊独自の感染症対策ガイドラインを作成し、教会、支部の先生方、保護者のご理解を頂いたことから。
- ・スタッフ、隊員、保護者の強い要望を受けて。
- ・幾度のスタッフミーティングの中から、隊独自の感染症防止対策を作成しました。そして活動拠点となる教会の理解を得られ、また、隊員宅一軒一軒を訪問し、保護者の理解を得られたことから活動再開をすることが出来ました。
- ・中学3年生を憂慮して。
- ・スタッフ、隊員、保護者に何としても信仰をつなげたいとの思いから。

どのような感染症拡大の防止策を講じていますか？活動再開後の問題点はありますか？

### 【各鼓笛隊の感染症対策】

#### ① 基本的な感染症対策

- ・マスク着用の徹底
- ・手指消毒、手洗い、うがいの徹底
- ・集合時の検温
- ・トイレ、洗面所のタオル撤去、ペーパータオルの設置
- ・机、椅子の消毒

#### ② 三密を回避した工夫

- ・練習時間の短縮（食事提供なしの半日練習など）
- ・練習日程と練習場所を複数に分けた分散練習
- ・パートごとに集合時間をずらす
- ・屋外練習
- ・定期的な換気
- ・水筒の持参

- ・食事後の食器洗いひのきしんはスタッフが行う
- ・スタッフの訪問練習

### ③ 各楽器別の対策

ご回答頂いた鼓笛隊の中に、鼓笛楽器（ファイフ、鍵盤ハーモニカ）による飛沫距離を下記の実験データを参考にしている隊が多くありました。

参考1) ヤマハ、新日本空調株式会社による「管楽器・教育楽器の飛沫可視化実験」

<https://ampmedia.jp/2020/06/20/yamaha-4/>

参考2) 一般社団法人 日本クラシック音楽事業協会による

「クラシック音楽演奏、鑑賞にともなう飛沫感染リスク検証実験報告書」

<https://www.classic.or.jp/2020/08/blog-post.html>

### ◆ ファイフ

- ・上記実験結果、報告書等のデータをもとにして前後左右1 m程度の間隔をあける（話さない事を前提）
- ・練習環境（練習場の広さ）に応じて、ジグザグに並んだり、透明シート等で仕切り板を設置したり、ハンガーラックに透明シートを掛けたりと工夫している隊もありました。
- ・下記のようなファイフシールドを独自に考案し、使用している隊もあります。

参考) ファイフシールド

[https://tenrikyo-shonenkai.org/katudou/05\\_01/shirudo.pdf](https://tenrikyo-shonenkai.org/katudou/05_01/shirudo.pdf)



### ◆ ドラム、アコーディオン、グロッケン

- ・上記の楽器は、基本的には演奏中に話さなければ飛沫は飛ばない事から、練習中の常時マスク着用、練習環境（練習場の広さ）に応じてなるべく間隔をあける対策をしている隊が多い

#### ④ ガイドライン

鼓笛隊再開にあたり、隊独自のガイドラインを作成し、教会や支部の先生方、保護者の皆さまのご理解を頂いた隊が多くありました。

下記の参考例は世間一般に web 上に上げられておりますガイドラインと、都市部で活動している鼓笛隊が独自に作成したガイドラインの一例です。

参考 1) 吹奏楽の活動及び演奏会等における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

<http://www.ajba.or.jp/guideline.pdf>

参考 2) 都市部にて活動している鼓笛隊のガイドライン

[https://drive.google.com/file/d/16VUp7Xcv0gOAUvp\\_HXLKJU8G9HaRjREC/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/16VUp7Xcv0gOAUvp_HXLKJU8G9HaRjREC/view?usp=sharing)

#### 活動再開後の問題点

##### (鼓笛隊の声)

- ・「お供演奏」出演後の次の目標がない。
- ・コロナの情勢に応じて、練習の中止や変更の対応、三密回避をした活動環境の整備、隊員の体調管理など細やかな配慮が以前よりも必要になり、常時活動としてこの先、この意識を維持していけるかが不安。
- ・なかなか練習の参加者が増えない。
- ・教区のコンクールやフェスティバルが中止になり、隊員の練習参加への意欲をどのように高めるか。
- ・アルコール消毒やその他コロナ対策の物品購入費用負担が大きい。
- ・仮に何かしらの演奏会が開催されても、練習不足で出演する程のレベルにならない。
- ・中学 3 年生にとって、活動の集大成ともなる発表の場がない。

#### 3、少年会本部（鼓笛活動課）に希望することはありますか？

##### (鼓笛隊の声)

- ・「特別企画 鼓笛お供演奏」、「境内地お供演奏」出演後の次の目標を考えていただきたい。
- ・こどもおちばがえりの方向性を早く教えていただきたい

## その他、頂いた各隊独自の活動

- ・本部、教区の発表の場の中止に伴い、自教会での発表会を計画している。対象は隊員と保護者で、その他の方々はオンラインでの配信を考えている。
- ・この度の節から、本部、教区における発表会のみならず、地域に根付いた活動も大切だと気づかせて頂き、その方向の発表の場を検討している。
- ・Youtube で過去のオンパレードやフェスティバルの映像を配信している。
- ・月次祭にお菓子を御供えさせて頂き、そのおさがりを隊員へのメッセージを添えてお渡しするようにしている。
- ・練習が出来ないこの時期を逆に、スタッフの成人の旬と捉え、別席や修養科へ導くよう丹精している。

たくさんのご意見、ご要望を頂きありがとうございました。こちらにお寄せ頂いた情報は、鼓笛活動課で今一度熟慮し、コロナ禍における鼓笛活動のみならず、常時の鼓笛活動の上に、参考にさせて頂きたいと思っております。